

# 北上川中流域国有林の森林計画に関する住民懇談会

国有林では、5年に1度のサイクルで、森林計画区ごとに地域管理経営計画等を策定しています。今回は、令和5年4月から始まる北上川中流域の第6次計画の策定において、地域住民からの意見・要望等を広く伺う機会として、令和4年1月26日（水）に開催された「住民懇談会」について紹介します。

今回の住民懇談会は、昨今の新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、東北森林管理局管内では初の web 開催となりました。

初めに森林計画制度等の説明をしたあと、北上川中流森林計画区の概要、国有林での取組内容、次期計画に向けた政策課題等について参加者へ説明が行われました。

参加していただいた森林計画検討委員、国有林モニター、地域住民、地方公共団体の皆様からは、「複層林施業についての質問

「森林施業の際の搬出路作設やチェーンソーの騒音についての要望」「生態系保護地域や緑の回廊内での昆虫採取や植物の盗掘問題」など、様々な質問・意見等が飛び交いました。その中からこのレポートでは、一般参加者から要望のあった「アレチウリの駆除」について少し触れていきます。

「アレチウリ」(右写真)とは北アメリカ原産とされる、ウリ科の大型ツル性植物です。繁殖力が非常に強く特定外来生物に指定されており、日本の侵略的外来種ワースト100にも選ばれています。強い繁殖力で侵入した場所の在来植物や造林木等と競合し、木々に巻付きながら密生するため、他の植物を覆いつくしてしまいます。駆除するためには根株ごと抜き取らなければなりません。

遠野支署では年2回早池峰地域における移入種駆除（セイヨウタンポポ、オオバコ、オオハングウソウを対象）を関係機関等と合同で実施していますが、正直筆者は「アレチウリ」について把握しておりませんでした。生物多様性を保全するためにも、関係機関と連携しながら、今後も移入種駆除等の保全活動を継続していくことが重要となってきます。



出展：環境省 HP 外来種写真集  
(<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>)



国民の森林への関心が高まる中、こうした地元要望等を汲み取った管理経営が一層求められています。

参加された皆様から貴重な意見・要望を頂戴することができ、非常に有意義な住民懇談会であったと思います。今回いただいた意見等については、計画策定の参考とさせていただきます。

お忙しい中ご参集いただき、誠にありがとうございました。